大同二年十月十四日 第三種郵便物認可
（日刊）
新京日日新聞
夕刊　九月廿六日（火）
發行所 新京日日新聞社

北滿各地に活躍する日本商品
圓安で斷然優位を獲得す

（ハルビン廿五日發）對外爲替相場の下落、これが「招來」する滿洲國への日本商品の殺到は逐次外國品を壓倒し遠からず北滿市場は日本商品を以て充滿されるだらうと多大の期待が前途にかけられ滿洲國商人も双手を擧げて日本商品を歡迎する、一般情勢にある即ち各種商品の大宗をなす綿糸布は年に生地綿布一萬捆、綿布四萬捆、加工雜綿布五萬捆等平均約十萬捆が輸入されてゐる、而して從來北滿に輸入されてゐた右商品は上海、青島に次いで日本商品であつたが支那内地よりの輸入品は銀相場高と沿岸貿易税の高率に阻害され減縮し大阪よりの日本商品が斷然優位を占めてゐる、毛織物も外國品のストック物が姿をひそめるに從つて名古屋産品が壓倒的地位を占めるものと觀られてゐる、絹織物も高價な「本物」よりも今や人絹物全盛時代を現出してゐる、これも爲替下落の結果フランス品を驅逐するに至つたもので日本製品福井産品が最も優位を占めてゐる、多年支那靴屋の逆宣傳に乘ぜられた日本製の地下足袋も昨年度は二百萬足輸入され大同二年は約三百萬足の輸入をみるだらうと豫想されてゐる、洋紙類も今日まではフヰンランド品に壓迫されてゐたがこれも今や日本品の獨占するところとなつてゐる化粧品もフランス品を漸次驅逐してゐる外毛糸類も又綿糸に次いで大々的に輸入され日本人の専門商店も二三軒開店されるに至つた、陶磁器は舊東北政權時代奉天に大工場を設け國産奬勵を圖り外國商品には四割の高率税を賦課してゐたが大同二年七月から税率を改正して從價一割五分となつたが現在では日本名古屋商品が殺到するに至つてゐる、更に染料、電氣器具等は「今日」までドイツ品の獨占するところであつたが爲替安に伴つて日本品の進出により漸次ドイツ商品もその姿を消しつつある顧者の傾向を辿つてゐる、かくて今や日本商品は品質と安價の點で外國品を壓倒しいとも朗らかなメロディの裡に北滿市場に急テンポで進出してゐる

吉會線に依る日、滿連絡整理
交通審議會に上程

（東京廿五日發）内閣總理大臣の諮問機關として各種交通の連絡統制に關する重要事項を調査審議の爲設けられた第一回交通審議會總會は二十五日午前十時より首相官邸で開會、會長たる齋藤首相、委員たる高橋藏相以下出席諮問事項たる吉會線に依る日滿交通路開拓に伴ひ日滿間交通路整備の方策如何を上程、首相より一場の挨拶ありたる後港灣關係に關し内務省より中川技術監督が特に出席し詳細に説明あり愼重に審議を進め正午散會一同首相招待の午餐會に臨んだ

日本の重要都市で
滿洲人向商品の展覽會開催

（ハルビン廿五日發）日本商品は今や圓安に帆を上げ雪崩を打つて滿洲國市場に流入しつつある好況にあるが、從來日本商品は在滿日本人顧客を目標とした嫌ひがあつたのに鑑み東亞勸業會は今回日滿經濟ブロック實現の前提として滿洲國の市場は「何を日本より求めるか」といふ標語の下に同會主催で關東軍司令部、滿洲國政府、滿鐵、協和會後援の下に滿洲人向きに現在輸入されてゐる各國商品原料等の見本（約五千點）を蒐集携帶して約廿名の代表が來る十月廿三日東京、横濱外八大都市に向け出發滿洲國商品の一大展覽會を開催する事となつた尚代表一行は右の八大都市の外更に各都市に於て經濟座談會を催し日本商品の滿洲輸入に一層の拍車を加へる事となつた

北洋漁業官民合同協議會
十月七日函館に開催

（東京廿五日發國通）北洋漁業問題を議する官民合同協議會は十月七日函館で開催されることとなつた、右協議會には官廳側より農林、外務、大藏、遞信、海軍の各省及び大湊要港部、民間側よりは露領水産組合及び蟹工船組合、沖獲漁業組合より多數出席し、ソ聯邦との漁業紛爭の報告を爲し未解決の問題に廣田外相の新任を機會に對策を講ずる筈

鐵道省上海辦事處
大橋事務官辭任

（東京廿五日發國通）鐵道省上海辦事處駐在運輸局書記官大橋長行氏は同處が滿洲國内に移轉するので目下歸朝中であるが、二十五日正式に辭表を提出し一兩日中に發令される筈尚滿洲國内に新設される事務所は新京に置かれる模樣である

北滿漁業移民
來春早々來滿豫定

（ハルビン二十五日發）宗教家にして海外發展先覺者の令名高き大谷光瑞氏が北滿河川の寶庫開發を「目指」し佳木斯を根據地として約三百の漁業の集團移民を計畫し着々調査を進めんとしてゐるといふニユースが傳へられ各方面の注目を集めつゝある、噂の發端は目下大谷氏の秘書橋本文治氏が來哈してゐるが同氏は一兩日中に勢揃ひする全員十數名の調査員一行を引具して二十四日ハルビン發の便船で佳木斯に赴き愈々漁業移民の實地調査を行ふことに決した事實より始まつてゐる、仄聞するところによると大谷氏は大松花江並にアムール江の魚介豐富なるに着目し從來カムチヤツカ方面にのみ向けられてゐた日本漁業移民の一部を北滿に振向け大漁法によつて川鮫、スツポン、鯉、鮒等の魚介を捕獲し罐詰工場をも設置せんと目論んで第一期移民百家族三百名を來春早々「移住」させやうとの計畫まで進められてゐるのである

ドリヴィエ氏菱刈司令官を訪問

（大連廿五日發國通）豫てより滿鐵との對滿投資具体案協議の爲め滯連中の佛國財團代表ドリヴィエ氏は二十六日午前十時日佛投資調査會の横山氏を携行旅順に菱刈軍司令官を訪問するが確聞するところに依れば同氏は今日迄の調査に基きフランス實業界の對滿投資の意向を披瀝すると同時に滿鐵との共同出資に關しこれが具体的細目協定の説明を行ひ諒解を得んとするものの如く米のソ聯承認問題が喧傳せらるる折柄これが成行は注目に値ひするものと信ぜられる

キューバの暴動益々熾烈

（ワシントン廿四日發）米國官邊に達したキューバよりの諸報告によれば、同國内の無秩序状態は益々増大しつつあり米國は或は海兵隊並に陸戰隊のキューバ上陸を斷行する必要に迫られるのではないかと言つてゐる即ちキューバ内地の暴徒はモスクワ歸りの共産黨員が指導し共産黨張りで武裝暴民が代價を支拂はず恣に食料の徴發を行ふ等暴状甚だしく危險は刻々加はつてゐるので待機中の米國軍艦の各司令官に對し米當局は何時でも自由裁量で兵力を上陸させる權限を與へた、斯くて米國のキューバに對する干渉の機運は刻々迫つたものの如くだが、當地外交界方面では米國が容易にキューバに干渉し得ない理由としてル大統領は來る十二月開催の汎米會議で南中米諸國との關係を密接ならしめ南米貿易を旺んならしめる計畫を實行に移す意志があるのでキューバに干渉するは極めて不得策だとなし且つ日本政府も日本の對滿政策に對比して米國の對キユーバ政策を見やうとする態度を示してゐるので之亦米國のキユーバに對する干渉を躊躇せしめたる有力な理由だと言つてゐる

驛構内憲兵派遣所移轉

新京驛憲兵派遣所は從來驛玄關を入つて左側一、二等待合室の筋向ひにあつたのを今度三等待合室の一隅に移轉改築中の處いよ〜完成の運びになつたので近日中移轉事務開始を行ふはず

ハルビンに於ける勞働賃銀一覽

（ハルビン廿五日發）三千萬民衆が無限に呪咀する舊政權の殘黨國内の匪賊の討伐を完了して文字通り建國の崇高なる精神に向つて樂土和平的建設期に入つた我が滿洲國の現狀は國内津々浦々に至るまで建設の業務に空前の繁忙を極め殊に大大阪の縮圖と云はれる國際的經濟都市大ハルビンの各般に亘る建設界は目覺しい程の跳躍振りを示して居るが日本人及び滿洲人のこれに伴ふ勞働賃銀の大別を示せば大要左の如くである

△邦人側（單位圓）

	最高	最低
大工	五、〇〇	二、五〇
左官	五、〇〇	三、〇〇
石工	六、〇〇	三、五〇
煉瓦積工	五、〇〇	三、〇〇
土工	—	—
鍛カ工	四、〇〇	二、五〇
ペンキ塗	五、〇〇	三、五〇

△滿洲側（哈大洋）（勞働時間十時間）

	最高	最低
大工	二、八〇	一、六〇
左官	二、四〇	一、六〇
石工	三、三五	一、六〇
煉瓦積工	二、四〇	一、六〇
土工	四、一四	二、三五
鍛カ工	二、四〇	一、七〇
ペンキ工	二、六〇	二、三五
煉瓦工	二、四〇	二、三五
煉瓦工	五、〇〇	三、〇〇
硝子工	四、〇〇	二、五〇
鍛冶工	六、〇〇	三、五〇
電氣工	五、〇〇	二、五〇
指物工	五、〇〇	二、五〇
經師	四、〇〇	二、〇〇
裁縫工	五、〇〇	三、〇〇
靴工	五、〇〇	三、〇〇
活版工	五、〇〇	二、五〇
日傭人夫	三、〇〇	一、五〇

	最高	最低
硝子工	二、四〇	一、七六
鍛冶工	四、二〇	二、四〇
電氣工	二、四〇	一、七六
指物師	二、三五	一、七六
經師	四、二二	一、七〇
裁縫師	三、四二	一、七六
鞍工	二、九四	一、七六
活版工	一、七八	一、七六
日傭人工	三、五五	、九四
製米工	三、三五	、九四
製油工	一、七六	、九四
人力車	五、五〇	一、七〇
客馬車	六、一六	一、七六
荷馬車		四、三三
貨物自動車	平均 四〇、〇〇	

（勞働時間十時間荷製粉製油釀造は十二時間、又客馬車最高は馬二頭の大型車最低は馬一頭小型車）

珠玉を碎く
吉井勇
（高根秀浩畫）

（百二十五）

潮光る（九）

『えゝ、松本と大貫だつて……』

荘太は思はず寝床からむつくり半身を起して、かういつてやゝ口疾にきゝ返した。と、純子はぢつと海岸の方に目を注ぎながら、

『えゝ、たしかにさうよ。今ちよつと船のかげになつたけれど、たしかにあれは松本さんと大貫さんよ』

といつたが、何故かその目には微に涙らしいものが浮んでゐた。荘太はさう聞くと床の上から伸び上がりながら、ぢつと漁村の方に瞳を凝らして、

『あゝ、あれだね、今船の蔭から出て來た……』

『えゝ、さうよ。たしかにさうでせう』

『あゝ、さうだね』

荘太は輝いてゐる海の光りを眞面に受けて、眩しさうに瞬きをしてから、

『さうだ。たしかにあの二人だよ。しかしあいつ等は何をしに鎌倉へなんぞ來たのだらう。殊に大貫なんかさつきの刑事の話に依るとあのビラ撒き事件で警視廳へ喚ばれたり何かしてゐるらしいぢやないか。それだのにあいつ呑氣にあゝやつて海岸をぶら付いてゐやがる……』

といつてさつきの不氣味な夢を思ひ出したやうに、忌々しさうに舌打をした。

事實荘太と純子の目に映つてゐる、海岸を散歩してゐる二人は、英一と大貫とに違ひなかつた。彼等はその前の晩から停車場前の小町通に來てゐて、今日はかうしてぶら〜海岸を逍遙してゐたのだつた。二人とも瀟洒な背廣を着てステッキを振りながら何か快活に話し合つてゐた。が、二人とも荘太の兄妹が材木座に二階借をしてゐることは知らないと見えて、かうして二人が窓から眺めてゐることにはまるで氣付かずに、輕やかな足取で光明寺の方へ歩いていつた。二人の姿は間もなく枯れた蘆草の生えた砂丘の蔭に隠れてしまつた。

『さうだ。たしかにあの二人だ』

荘太は二人の姿が見えなくなると、もう一度さつきいつた言葉を繰返してから、純子の方を振り向いた。

『ねえ、純子。お前はお父つあんがまだ生きてゐた時分、あの松本のことを何かいはれやしなかつたかい』

『えゝ、松本さんのこと……』

純子は何か考へてゐたものか、暫らく默つてから訊き返すやうに返事をして、

『いゝえ、別に何ともいはれませんでしたわ』

が、純子のその言葉は、微かな戰慄を伴なつてゐた。と同時にその目に浮かんでゐた涙はもう溢れるばかりに一杯湛へられてゐた。

『ふうん、さうかね……』

荘太はさういつて暫らくぢつと唇を噛むやうにして考へてゐたが、やがてまるで吐き出すやうな調子で、

『あいつは實に失敬なやつだよ。あいつの親父とうちのお父つあんとが、まるで兄弟のやうにしてゐたつてことは、お前もよく知つてゐるだらう。それだのにあいつはお父つあんがあんな死に樣をしてからといふものはまるでおれの家に寄り付かないのだ。殊におれがあの同盟罷工の時に警察に引つ張られてからは、ひどくおれを危險人物のやうに思つて、こはがつてゐるらしいんだよ』

と、やゝ興奮したやうな顔付でしやべり續けてゐたが、そのうち咳が出始めたので、もうそれ以上はいひ續けられなくなつた。

『兄さん……兄さん……』

さういひながら背中を摩つてゐる純子の手はかすかにふるへた。

反蔣聯合討伐軍 全軍陣容全く整ふ

根據地を懷柔、赤城五路に岐ち 孫殿英軍も參加

〔天津廿五日發〕方、吉、劉、鄺の反蔣聯合軍は廿四日全國に反蔣通電を發すると共に全軍を五路に分ち根據地を懷柔赤城に置き一齊に各部隊の陣容を整へた、全軍の配置左の如し

第一路軍　吉鴻昌（懷柔）　二千
第二路軍　湯玉麟（赤城）　二千
第三路軍　劉桂堂（赤城）　一千五百
第四路軍　方振武（懷柔）　三千
第五路軍　鄺桂林（赤城）　三千

全兵數は約一萬二千で右の外野砲、迫擊砲隊、機關銃隊等二、三連を擁し、更に孫殿英部隊も北平當局の改編命令に服せず反中央の旗色を明瞭にしたものゝ如く外にも合流部隊を見る模樣で同軍の勢力增加により北平當局は一層脅威されるところとなつた

方振武軍の回答

廿四日午後五時我軍に送達

〔北平廿五日發〕曩に我軍が方振武に對し廿六日夕刻を期して停戰協定線外に撤退せよとの警告に對し廿四日午後五時方振武は我軍に對し左の如き回答を送つた

討蔣聯合軍今回の目的は中國全体の人民を痛苦のどん底に陷れ止む所無き壓迫政權を打倒するに在り、此目的のために各軍は進擊の途中に在れ、先づ第一期作戰として順義以南地區に總兵力を集中したる後北平攻略を企圖せんとす

我軍の行動は中華民國內の政治問題であり、依つて貴軍は友邦善隣の精神をもつて內政に干涉せず傍觀態度を持されんことを希望す二十二日附貴司令官の通告を見るに期限を定めて協定線以外の地帶に撤退せよとの要求なるも之は甚だ遺憾なることである、我々民國人は貪慾あくなき政府を顚覆するに非ざれば絕對に生存の途なし、卽ち今回の擧は生存を求めんとして此國賊と北平附近に於て決戰を求めんとするものである、此目的の爲めには作戰準備の爲め相當の期間此地方に移駐する事又已むを得ざる事情を明察されよ、然らざれば貴國並に貴國民の不幸なるを斷言す

討賊聯合軍　方振武

日本軍司令官

何應欽不侵入地域 入軍を申出づ

我軍斷乎これを拒絕

〔東京廿五日發〕何應欽は停戰協定で設定された支那軍不侵入區域で策動して居る方振武、吉鴻昌、湯玉麟、劉桂堂等の討伐を目的とし二十三日關東軍司令部に對し不侵入區域に中央軍を入れたいと希望して來たつたが關東軍では卽日之を拒絕の回答を發すると共に方振武に對し不侵入區域の撤退を要求し應ぜざれば實力行動をする旨通告したと陸軍中央部に報告があつた

尙現兵力は方振武軍三千、吉鴻昌軍二千、湯玉麟軍約二千劉桂堂軍千五百合計八千五百名である

北平市中漸く動搖

〔北平二十五日發〕方振武問題の擴大と共に北平市當局は城內出入の通行人を一々檢査する等嚴戒を極めて居るが未だ何事もなく只諸肖頻りに飛び人心漸く動搖の色が見へんとして居る

宋子文近く ライヒマンを帶同北上

〔東京廿六日發〕[illegible]筋に達した情報によれば、宋子文は河北に於ける財政の情況を視察のため本月末北上する事になり其際ライヒマンを伴ひ行政、財政に關する改正案を立てしめ、且つ外交方面に關しても或種の援助を期待し以て歐米との連絡に資せしむる豫定であると

北支駐屯軍 交代部隊 廿五日朝塘沽着

〔天津廿五日發〕北支駐屯軍新交代部隊は今朝塘沽に無事到着、直ちに上陸、山海關、唐山派遣部隊と天津駐屯部隊とに分れ各々午後二時塘沽發の特別列車で目的地に向つた中村駐屯軍司令官は午後九時四十五分東站發列車で幕僚を從へ下塘、塘沽に於て山海關派遣（旭川）唐山派遣（東京）の兩部隊に對し訓示を與へるところがあつた、天津駐屯部隊（大阪、久留米）は中村司令官便乘の下に午後三時東站着威風堂々沿道居留邦人の歡迎裡に海光寺兵營に入つた

聯盟監視に 佐藤大使をも急派

〔東京廿六日發〕目下ジュネーヴに開會中の聯盟理事會に對し帝國政府は去る三月廿七日の聯盟脫退の方針に基つき代表者を派遣せず議治的には全くの絕緣狀態となつてゐるが、今期の聯盟理事會は對支技術協力委員會を任命せるを始め支那側は機會を利用し日支紛爭處理經過の報告を求めんとする等相當警戒を要するものある爲既にパリーの聯盟帝國事務局から伊藤述史氏並にベルギー大使館參事官橫山正幸氏を特派し聯盟の動靜を監視せしむることとしたが今回更に一般軍縮會議帝國全權佐藤大使をジュネーヴに急行せしむることとなり同大使は廿四日ブラッセル出發廿六日中にジュネーヴへ到着の筈である大使は側面的監視の任に當る

シムラ會商 愈よ正式交涉に入る

〔シムラ廿四日發〕廿五日より愈々正式折衝に入つた日印會商は休日その他特別の場合を除き當分の間每日午前十時半より午後一時迄三時間半會談を續ける事に双方の話合が纏つた、併して交涉進行の狀況に關しては每日の會商後コンミユニケを發表する事となりその他は兩國代表から情報を出さない申合せを行つた、從つて相當話が纏る迄は外部からは內容を知り難い事になつた

議事方針決定 第一回會議は二十五日開催

〔東京二十五日發〕外務省着電二十二日のシムラ會商豫備會商で今後の議事方法左の通り決定した

一、日印代表各より九名乃至十名出席する
一、議事錄は兩代表部が共同で作製し兩代表の承認を經ること
一、第一回會議は二十五日午前十時半より午後一時迄に開催する

滿洲、上海兩事件 功績審査委員會開催

第一回行賞六萬人突破か

〔東京廿五日發〕陸軍省では廿六日午後二時より省內で滿洲上海兩事變功績審査委員會を開き荒木陸相以下各委員出席し陸相より陸軍部內と陸軍關係者生存者の論功行賞に關する根本的の訓示をなした上意見を交換したる後午後四時散會したが第一回行賞の範圍は第二師團、本庄侍從武官長、關東軍司令部員上海派遣軍を網羅したもので明年早々發令されるが總數六萬名を突破するものと見られてゐる

哈爾賓競馬

哈爾賓滿洲國立賽馬場では九月三十日から六日間秋季大賽馬會を擧行雨天は順延每日正午から開始すると

討蔣聯合軍 順義に入城

北京を距る二十哩に迫る

〔天津廿五日發〕牛欄山方面にあつた方振武等の討蔣聯合軍の先鋒は更に順義に前進攻擊を開始し同地に入城しつゝあり北平を去る二十哩に迫つた

我軍目下待機中

廿二日我軍より期限付撤退勸告文を突き付けられてその動向を注視されてゐた懷柔城內の方振武軍は大言壯語に似げなくも二十四日夜より撤退を開始し、二十五日朝までに協定線上の順義に退却、懷柔城內には敵影を認めなくなつたが我軍にあつては目下その行動を嚴重監視中である、なほ方軍が一歩でも線內に侵入せば今度こそ容捨なく討伐すべく待機中である

南新京驛 新陣容

南新京驛はいよく十月一日より假營業をなすがこれに要する事務員は驛長、驛助役各一名、驛務員日人傭員二名、驛手滿人傭員二名と內定した、なほ新京驛より鐵道事務所、驛方面より係り關係員數名當該驛の下檢分に二十六日午後から出掛けた

五・一五民間被告の 公判けふ開廷

內外異常な嚴戒裡に

〔東京廿六日發同盟〕社會注視の的となつた五、一五事件の陸軍側被告に對しては去る十九日一律に禁錮四年の『判決』を宣され、海軍側被告に對する審理も既に去る二十日をもつて終結を告げたがこれに續いて民間側被告法學博士大川周明（四八）愛鄉塾主橘孝三郞（四一）天行會長頭山秀三（二七）紫山塾頭本間憲一郞（四四）氏等二十名に對する爆發物取締罰則違反、殺人及び殺人未遂、同幇助事件の第一回公判は二十六日午前九時より東京地方裁判所第一號法廷に於て刑事第七部神垣裁判長、八木田、長野兩陪席判事、齋藤補充判事、木內、吉江兩檢事係り、堀田、成瀨向井三書記、辯護人中川、岡田、鵜澤、卜部博士以下秋山（高）、平松、竹內、角岡、林稻本、塚田、江橋、花井氏等合計六十八名立會ひのもとに開廷された、起訴罪名は爆發物取締罰則違反、殺人等に問はれてゐるとはいへその內容は昭和維新の確立を目指した內亂罪に相當するもので司法裁判所としても特に『空前』の劃期的大公判であり審理は異常なる緊張裡に開始された

陸軍被告 廿九日豐多摩刑務所へ移さる

〔東京廿六日發〕五、一五事件陸軍被告判決效力廿四日午前零時發生と同時に澁谷の衞戍刑務所未決監より既決監房へ移されたが廿九日豐多摩刑務所に移される筈

被告人氏名 並びに罪名

爆發物取締罰則違反 殺人及び殺人未遂

本籍 茨城縣水戶市上市馬口勞町 一二〇八
住所 同縣東茨城郡常磐村 三〇三九
愛鄉塾主橘孝三郞（四一）

本籍 同縣那珂郡五臺村字東木ノ倉八一六
住所 愛鄉塾內
同塾教師後藤圀彥（二二）

本籍 同縣東茨城郡常磐村 三〇三九
住所 愛鄉塾內
橘の義弟林正三（四一）

本籍 同縣久慈郡世矢村字小目一九八七
住所 愛鄉塾內
同塾々生 矢吹省吾（二三）

本籍 同縣東茨城郡上大野村字中大野一一九
住所 右同
愛鄉塾々生 橫須賀喜久雄（二二）

本籍 茨城縣西茨城郡笠間町字桝形一一六二
住所 愛鄉塾內
同塾々生塙五百枝（二二）

本籍 同縣那珂郡勝田村字武田五三九
住所 愛鄉塾內
同塾々生大貫明幹（二四）

本籍 同縣那珂郡大賀村岩崎三一九
住所 愛鄉塾內
同塾々生 小室力也（二二）

本籍 同縣西茨城郡笠間町 一二〇九
住所 愛鄉塾內
同生春田信義（二七）

本籍 廣島縣安藝郡音戶村字畑
住所 東京市中野區藥師町四五三林方
明大生 奧田秀夫（二四）

本籍 鹿兒島縣出水郡出水町上鯖淵
住所 右同
士官學校中途退學 池松武志（二四）

爆發物取締罰則違反及び殺人

本籍 茨城縣鹿島郡沼前村字網掛一一三
住所 同縣水戶市上市棚町四ノ一八
商店員高根澤與一（二三）

爆發物取締罰則違反及殺人幇助

本籍 愛知縣寶飯郡蒲郡町字神ノ鄉殿里敷八
住所 愛鄉塾內
同塾々生 杉浦孝（二五）

爆發物取締罰則違反及殺人同未遂教唆

本籍 茨城縣那珂郡湊町泉町八〇二
住所 同縣同郡神崎村本米崎綿引方
本米崎小學校訓導 堀川秀雄（二八）

本籍 同縣那珂郡湊町長崎四八
住所 右同
前渡小學校准訓導 照沼操（二四）

本籍 同縣那珂郡前渡村字前濱八三五
住所 右同
農 黑澤金吉（二六）

爆發物取締罰則違反及殺人未遂

本籍 同縣那珂郡前渡村字前濱九九
農 川崎長光（二三）

爆發物取締罰則違反及殺人幇助

本籍 山形縣飽海郡西荒瀨村字藤塚一二五
住所 東京市品川區上大崎町二三一
東亞經濟調査局理事長
神武會々長
法學博士 大川周明（四八）

本籍 東京市澁谷區常盤松町 一二
住所 同市杉並區阿佐ヶ谷町二ノ六
天行會々長頭山秀三（二七）

本籍 東京市日本橋區蠣殼町三ノ一
住所 茨城縣新治郡眞鍋町字眞鍋臺一三三二
紫山塾頭本間憲一郞（四四）

人事往來

▲今野三等軍醫正（飛行第一〇聯隊附）二十五日午前八時四十分發哈市へ
▲熙洽氏（財政部總長）同上
▲渡邊獸醫官（關東軍獸醫部長）二十五日午後三時二十五分歸京哈市より
▲高山勝司氏（新京署長）二十五日午後七時五十分着奉天より
▲落合中佐（自動車隊）六日午前八時着奉天より
▲內藤技師（陸軍省建築課）二十六日午前九時發奉天へ
▲桑孟枚氏（吉林省教育總長）二十六日午前八時三十分發吉林へ

團体

▲茨城縣町村長團十四名二十七日午前六時四十分着旭ホテル投宿二十八日午前八時四十分發哈市へ予定
▲台灣教育團十六名二十七日午後六時五十五分着北滿旅館投宿二十九日午前八時四十分發哈市へ十月二日午後四時三十分發奉天へ予定
▲福岡縣筑紫中學生百七十四名二十六日午前六時四十分着午後〇時四十分發周水子行朝鮮警官團五十三名二十六日午後三時二十五分歸京哈市より午後四時三十分發吉林へ二十七日午後四時歸京午後四時三十分發奉天行予定
▲南滿工業教育團九十名二十七日午前六時四十分着旭ホテル投宿二十八日午前八時四十分發哈市へ二十九日午後九時十五分歸京午後十時發大連行予定
▲栃木縣市町村團十九名二十五日東京旭ホテル投宿二十六日午後四時三十分發奉天へ
▲日本女子青年團二十名二十六日午後〇時四十分發遼陽へ
▲石川縣教育團十五名二十六日午後三時二十五分歸京哈市より三島旅館投宿二十七日午前八時三十分發吉林往復午後十時發奉天行豫定
▲新潟縣實業團六名二十六日午前八時三十分發敎化へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同　遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

●米棉　棉花
現物、十月限、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限 [illegible]

▲上海標金
昨止、高値、安値、本寄、步値 [illegible]

▲上海日本向
第一回、第二回、第三回 [illegible]

▲上海倫敦向
賣値、買値 [illegible]

▲上海紐育向
賣値、買値 [illegible]

▲大連金鈔票
現物、九月二七日限、十七日限、寄付、步値、引値 [illegible]

各地市場

▲大阪株式　大株、新株、紡新 [illegible]
▲同短期　大鐘、同新 [illegible]
▲大連株式　東新、大鐘新、新 [illegible]
▲大阪三品　五品先、豆新、錢紗 [illegible]
▲大阪棉花　當限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、先限 [illegible]
▲大阪期米　當限、先限 [illegible]
▲仁川期米　當限、中限、先限 [illegible]
▲橫濱生糸　現物、當限、先限 [illegible]
▲神戶豆粕　十一月限、十二月限、一月限 [illegible]
▲カルカツタ麻袋　青筋、筋、替 [illegible]
▲大連特產　●麻袋 [illegible]
●大豆　現物、九月限、十月限、出來高 [illegible]
●豆粕　袋込、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限 [illegible]
●豆油　現物、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回、第二回 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲大連上海向　高値、安値、出來 [illegible]
▲哈爾賓特產　●高粱、●大豆、●小麥　現物、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限 [illegible]

新京市況

特產、大豆、高粱、小豆、包米、鈔票對金票、現大洋對金票、國幣對金票、大洋對鈔票 [illegible]

皇后陛下の御慶事 十二月中か
宮内省準備に着手

〔東京廿五日發國通〕皇后陛下には十二月の戌の日に御九ケ月の御着帯式を行はせらるる御豫定だが或は御慶事は十二月中にあるやも知れず宮中の御内儀では萬一の御準備申上げて居る模樣である

〔東京廿五日發國通〕皇后陛下には來る卅日東京に還幸遊ばされる事となつたが、宮内省では御慶事の準備に早くも着手し、御誕生後の第七夜の讀書鳴弦の儀に奉仕する人の儀服や新皇子殿下の御産衣の謹製を開始し御慶びの日を御待申し上げて居る

ソ滿國境危機など 好戰家のデマ
露國の軍備擴張は吾影に怖へるもの

北鐵買收交渉の行き惱み、それに伴ふ兩國の牽制策により、蘇滿國境の空氣は次第に緊張しつゝあるが、今回のポグラ、滿洲里驛長の檢擧事件はソ聯側に大衝動を與へ、一部には日露開戰説を唱へて、各都市の寄席等で、對日戰爭に關して演説し、大衆の喝采を拍しつゝあり、一方滿洲國の白系露人はセミヨノーフ將軍を中心として活動熱烈となりつゝあるが、現在の露滿國境の空氣は一部好戰家のデマゴーグのため今後の動向に對して一般は頗る杞憂を抱いてゐるが日本政府及び軍部に於ては對露開戰の意志は毛頭なく只單に敵が攻勢に出でば吾軍はこれを迎へ擊つだけの用意をしてゐるに過ぎずソ聯側の極東軍備擴張は吾影に怖へるものとして一笑に附してゐる

日ソの開戰！
果して彼に力ありや

然らば日ソ兩國が開戰するとしても露西亞にどれだけの實力があるか、今露字新聞や外國新聞及び『國内』の新聞記事等を綜合して見るのにソ聯側は已むを得ず事を構えて開戰する意志はなく革命成立當時のまゝ今尚平和主義を以て國家方針としてゐる、即ち第一次五ケ年計畫により、重工業軍需工場の充實を圖つた同國は食糧の不足と人心不安を誘發したが、第二次五ケ年計畫では最初の計畫に大修正を加へコルホーズ（集團農場）政策を中止し、輕工業を充實して經濟的實力の增進を圖り一方、露人の國民性たる怠慢癖は十六歳より三十五歳までの中心的國民を共産主義教育により矯正し、技術者や勞動者を厚遇し、出來高拂ひや賞與支給により能率の增進を圖り、個人競爭を禁じて社會主義的競爭を奬勵して國力の充實を期し、一面隣接歐洲各國とは政權の不變と云ふ大きな信用により不可侵條約を結んで『背後』の脅威は全然なくなつてゐる、然し軍事委員會では萬一不測の事態發生せる場合に備へるため、その自信ある武力要索により、戰術指導方針を變更し、赤軍保安警察隊員（ゲーペー・ウー）の訓育に力を注ぎ一度戰端を開けば攻勢に出でて殲滅方針を採り權利侵害に對しては斷然それを阻止することに方針を決定した模樣である、而て同國の最も強味とするところは例へ戰爭があるとも政權が確實にして變化することなく、他國より不動の政權に對する信用ありその實力は從來傳へられたる如く薄弱なものではなく現在北鐵買收交渉に於て滿洲國が強硬態度を固持せば『交渉』を打切るだけの決心を持つてゐると傳へられ、我國有識者間でもソ聯を余り輕視するより對ソ態度を愼重にすべしとの意見が擡頭しつゝあり、今後の日ソ兩國間の關係は米國のソ聯正式承認を繞つて相當デリケートな曲線を描くものと見られてゐる

飛行艇二臺で 横須賀羅津間翔破

〔東京廿五日發國通〕日本海横斷航空路開拓は國防上重大であるが海軍省では十月一日の羅津開港を機會に横須賀航空隊により横須賀羅津間飛行演習を擧行する事になつた、即ち九月二十九日午前八時田澤大尉指揮官となり飛行艇二臺で横須賀發イラコ岬大垣ゐ經て舞鶴に一泊し三十日午前七時舞鶴發日本海上四百七十浬を翔破して午後二時羅津港着、十月一日開港式に記念飛行を行ひ十月二日午前七時羅津發午後二時舞鶴着三日午前八時舞鶴發同正午横須賀着の豫定である

ソ聯背信首謀者
罪狀明白となり收監さる

〔ハルビン二十五日發〕二十四日突如稽核局に任意出頭の形式で『召喚』された北鐵ソ聯側の背信行爲の首謀者とされてゐるカリナ以下三名及び北鐵ポグラ・滿洲里兩驛長は其後訊問取調べの結果愈々罪狀明白となり二十五日身柄は一件書類と共に逆局收監された、即ち罪狀は財務處長クヴリオを除く五名は北鐵社規の手續を無視し七十九輛の機關車をソ聯に搬出し而も右不法行爲を隱蔽せんが爲め帳簿を改竄せしめ更に財務處長に對しても得手勝手な期間利子を附した俸給等の不當前拂を行つたもので斯の如きは明かに北鐵に打擊を與へる事を主眼とせる行爲なりと斷定せらるゝものであると言ふにあるが、右に關し交通部當局では世上兎角と風説が流布されてゐるも露支奉露兩協定に基き滿洲國の正當なる權限の發動で政治及び『其他』の意味は毫も含まれてないと言明してゐる

凱旋の常岡部隊
盛大な歡迎裡に着連

〔大連廿五日發國通〕凱旋第三陣部隊常岡指揮官引率の〇〇〇〇名は二十五日午前九時三十分臨時列車で着連二十五日は休日でないにも拘らず驛頭から廣場を埋めた歡迎群の熱狂歡呼裡に廣場に整列、嚴肅なるラッパ吹奏裡に聯隊旗に對する敬禮後市長代理岡野助役の歡迎、挨拶あり、常岡指揮官の答辭あつて萬歳三唱、編成順に宿舍關東倉庫に向つた、尚二十五日は縣人會及市主催の各招宴に臨み市内見物をなし二十六日は旅順の戰蹟見學に赴く筈である

熊本縣人會 歡迎會開催

〔大連廿五日發〕松田〇〇團長以下百餘名の勇士を迎へた熊本縣人會主催の歡迎會は廿四日午後四時二十分滿鐵社員倶樂部に開かれ主客打解け聖戰にお噺話に縱横の歡談をなし午後六時過ぎ散會、更に右百餘名の勇士は遼東ホテルの宴會に臨み戰線、銃後のお互の奮鬪協力を感謝し合ひつゝ盛會裡に午後八時過ぎ散會した

現はれた立候補者 新人か舊人か
俄然市内各所に大混戰演出
地方委員選擧迫る

新人か舊人か、今度の地方委員選擧に特に目立つのはこの兩者の對照である、舊長春以來の舊顔候補が、金城鐵壁を誇る確固たる地盤を擁して死守すれば斷參の猛者連何れもくつわを揃へて敵の牙城に肉迫する、前者に傳統の强味あれば後者また新人の意氣で相對しその勝敗は何れに落着すとも知れない、誠に第三者に取つてはこのうへない興味深いものがある

流石は大滿鐵
氣味惡くおつとり構へる
鐵道關係三候補

選擧もあと四日間を殘すのみとなつて俄然、各方面では一大混戰を演じ各立候補者とも選擧本部を留守にして到るところ暗中飛躍の態…市中の花々しさに引きかへてこれはまたおつとりと靜かに構へてゐるのは滿鐵關係だ、宮城、山口、中山三候補いづれも新顔揃ひだが大滿鐵を控へてゐるだけに選擧は何處吹く風といつた具合に、心憎いばかりに超然としてゐた

伊東氏の猛運動

伊東正夫氏の祝町選擧事務所では參謀の立候補者の實弟蹴田さんが昨夜深更までの猛運動に疲れて午前十一時ごろまだぐつすり寢込んでゐる最中である、現はれた立候補者顔觸れも大分揃つたやうだがまだまだ立候補者が出るでせう、私の方は料理屋組合、建材組合それに伊東さんが競馬倶樂部の役員をつとめてゐるのでその方面にも多少はあらうといふ見込です

伊東氏自身は「今家を出たばかり」とあつて不在

佐藤宇治太郎氏
當選圈内に

一方同じ祝町に本陣を布く佐藤宇治太郎氏方では表に「選擧事務所」の看板が麗々しく掲げられ人目をひく、刺を通ずると運動員の一人が獨り戰況を氣づかはしげに待つてゐる

いろいろ抱負經綸を述べるのもよいが、何分先方では萬事御存じのこと、喋々辯ずるよりも一々お訪ねしてお賴ひするに限ると思つて關係方面に出かけてゐます大体當選圈内に入る確信は持つてゐますがさてどうなることか、佐藤さんも歳こそ相當いつてゐますがあれで若い者を凌ぐ元氣ですよと最後の言葉に特に力を入れて若い者には決して負けない意氣と力を説明して呉れたものだ

宮崎氏も勇退

地方委員を二期間完全に勤めあげた現委員宮崎竹次郎氏は此度の選擧にもいろいろ傳へらいてゐるが、此度は出馬を斷念し同縣（佐賀）の佐藤宇治太郎氏を推すことになつた、氏は

『もう自分達の出る場合でもあるまいと思ふので同鄕の佐藤氏を推すことになつたわけです』と語つてゐる

四戸友太郎氏 突如出馬斷念
最近心境變化から

地方委員としての舊顔で、附屬地行政のため盡すところあつた四戸友太郎氏は在鄕軍人關係その他有力の地盤をバツクとして再擧することに決つてゐたが、考ふるところあり此度びは立候補を斷念することに決定しその旨關係方面へ釋明した、立候補斷念の理由は最近心境の變化によるものといつてゐるが一般から痛く惜しまれてゐる

立候補者 十七名
斷念者續出して

確實に出馬の色があつた有力候補も唯だ噂のみに止まつて途中斷念したものあり、最初二十名にも達した立候補者の顔觸れも漸次減つて二十六日午前中には四戸友太郎氏の突如出馬斷念があり、日鮮滿人を加へて都合十七名その顔觸れは左の通りである

丸山直助、伊東正夫、黒田實、沼田勇、大原萬千百、勘崎仙英、得丸助太郎、宮城調明、山口義人、中山恕世、佐藤宇治太郎、加藤金保、金張鍚棟、王紹庭、張惠卿、孫化南の諸氏

今のところ僅に定員に一名超過であるがなほ日和見のもの數氏あり鮮人側の崔保卿氏も決定せない模樣である

營口のペスト防疫
手配萬端なる
鼠は一匹二錢で買上げる

營口警察署長卞宰の日滿ペスト防疫會議は九月二十二日午前九時から同署において開催されたが左記事項を討議し十時五十分終了した、出席者は日本側、憲兵隊長、地方係長病院長、細菌檢査所員、古川醫師、驛長、滿洲側營口縣參事市警察署員、木村防疫技師、牽山線河北驛長等

一、第一期滿洲側は縣公署、日本側は警察署を連絡の中心となし相互對策をなすこと
二、捕鼠、一匹二錢に買上鼠に限り檢査を行ふ
三、檢病的戸口調査實施のこと
四、ペスト予防及捕鼠並に虱ト南京虫等驅除、宣傳ビラ配布のこと
五、滿鐵營口線の望診のこと（警察員及驛前警察官で實施）
六、河北驛の望診のこと

チ、ハルでもペスト防疫

齊々哈爾市では四洮、東昂兩線よりの旅客物資の流入が多いところからペスト防疫の萬全を期するため二十三日黒龍江省城ペスト臨時防疫委員會を組織、先づ第一期防疫法として汽車汽船發着場の檢疫、捕鼠、流行地よりの人馬物件を流入禁止を實行することに決定、大賚、齊々哈爾兩驛が檢疫を開始した

四洮線雙崗驛附近にペスト

四洮線雙崗驛附近にペスト患者二名發生してゐたが十九日死亡したので驛事務所において規定通り死骸は處置し目下醫師二名、助手十名を派遣された、今の處洮南には異狀ない

醫學博士の家庭を繞る
奇怪な殺人事件發覺

〔大連二十五日發〕大連市聖德街一三五、元滿鐵衞生研究所病理課長醫學博士兒玉誠氏の家庭を繞つて『殺人』の兇行が演ぜられたことが判明し、所轄沙河口署は大連檢察局の指揮を仰ぎ大活動中である事件は博士夫人勝美（二九）が以前より關係を續けてゐる情夫二名が數日前博士邸に出合ひ情夫の一名市内某所居住元滿鐵社員大塚某（二八、假名）は夫人と共謀し同じく情夫たる原田某（二〇假名）を殺害し死體をトランクに詰め、寺兒溝山中に遺棄し勝美夫人は直ちに僞名の上鄕里長野縣豐科町五九四實兄藤森俊一郎方に歸つたもので沙河口署では二十四日兒玉博士を拘引留置すると共にトランクを發見死体解剖した、主犯たる大塚は今尚市中に潛伏せるものの如く同署では二十四日來署員を總動員して搜査を繼續して居る、尚事件發覺の『端緒』は二十四日兒玉博士が沙河口署に自首した爲めである

工兵隊
明朝七時着

工兵十二〇隊第一〇隊の將校以下〇〇〇〇名馬四十二頭は二十七日午前七時着列車で新京着同十一時五十五分發で哈爾賓方面に出動する此一隊は第六〇團に屬し熱河方面に在つたが第六〇團の内地歸還により原隊第十〇團の隷下に戻るものである

兵士ホーム慰問團から
第二信（九月二十三日）

瑠璃色の澄み切つた秋氣の朝景色を賞で乍ら一行は奉天衞戍病院に病床慰問に參りました、白衣の影には見逃すことの出來ない惱みの色が漂つてゐます、戰友と別れ第一線から心ならずも退いた殘念さが宿つてゐる爲めでございませうでも大變嬉んで戴きました歸へは三度も懷しの故鄕へとく凱旋なさる兵隊さん達を送迎致しました、前信では齊々哈爾へ行く樣に御報告致しましたが豫定を變更致しまして先づ熱河の方を慰問することになりました、皆明日の日を樂んで待ち詫びてゐます

新京兵士ホーム　赤木常盤

女ゲーム取を賣つた男逮捕
共犯一名は逃走

新京署司法係池水刑事は去る廿四日窃盜容疑者として鐵道北館易宿泊所止宿人加藤賢一郎（二二）を引致嚴重取調を行つて居るが右は本年二月中旬頃友人渡邊某と來京市内二ケ所にて窃盜を働きつゝあつたが我軍の熱河討伐と共に自動車運轉手として出征二十三日歸京した處を御用になつたものである、更に彼が自白した處によれば彼は在京中本鄕富士町署留置場で知り合つた渡邊某と共謀し渡邊方の球突場で働いてゐるゲーム取吉田ヤミチ（二〇）を賣飛ばして來京の資金を作るべく加藤が豫て知り合の澁谷百軒店カフエーキユウピーの女給船田花香だと吉田を僞稱し加藤が兄となり印鑑を僞造船田の本籍より戸籍謄本を取り寄せ千葉縣成田の料亭花どゑへ二百圓にて賣飛ばしてゐる事が判明した、なほ余罪も多數ある見込で取調中であるが共犯の渡邊は奉天に逃走してゐるが一兩日中には逮捕の見込である

滿倶勝つ 11—9
全滿選拔野球決勝戰

〔大連廿五日發〕滿洲國チーム對大連滿倶の全滿選拔野球大會決勝戰は二十五日午後二時五十分より實業球場で開始審判（球）吉田（壘）西瀬、酒井、立石の諸氏、滿倶先攻で双方猛烈な打擊戰を演じ前半の滿倶リードに對して滿洲國の後半の追擊も空しく十一對九で大連滿倶優勝す、閉戰五時五分

△バツテリー
滿倶　瀧崎—紗島
滿洲　赤木、水原、柳原

△スコアー
栗原

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
滿倶	5	2	1	2	0	0	0	1	0	11
滿洲	2	3	0	0	0	0	1	1	2	9

9—11

△メンバー
滿倶　原池谷下崎須本島澤
芝小杉山瀧高梅鮫
956318724
滿洲國　原橋原松木宗村西原本
水高栗赤赤北西香柳松

雲月孃好評

二十五日夜から長春座に開演した天中軒雲月孃一行は非常な好評で雲月孃の余興都々逸は聽衆をよろこばした開演は今夜限りである

花街の噂 小艶姐さん

8(1.9)725 1(8)34916

日本が滿洲國を承認した周年記念祝賀大園遊會がヤマトホテルで催された時、メーンテーブルのお歴々がすつかり腰をすへてしまつてゐるので、ソツとお先へ御免とお土産の仲秋の餅を貰つて踊つたものが多かつた珍らしい現象、何が彼等をさう惹きつけたかと覗つてみると、なるほど

×

數あつた余興のプログラムのしんがりは例のおつかれさん心の憂さの捨てどころ……嬉野の吉原雀と花嫁ゆくよであります、舞台のまん前がメーンテーブル、これぢや主人に對する儀禮としても腰をすへなくちやすまないわけだと苦笑を禁じ得ぬものがありましたがお歴々にその心あつてかどうかは？だ

×

それはさて措き、あんまりメーンテーブルがたゝないので偵察の結果は舞台はてうど吉原雀が始まつたところ。例の活躍さユラクチームの所有者小艶姐さんと、もう一人何と云つたか忘れたが二人で踊つてるところでありました、あれはたしか八幡太郎義家の危難を鷹の精が救ふといふ筋にからんで

×

先づ放生會の故事から説き始めて吉原の廓の諸譯を語る所作事だとうで、長唄古曲中での名作だときいて居ります、男即ち八幡太郎に扮したのが小艶姐さん、女即ち鷹の精に扮したのがその名を思へ出せぬ妓、跪いて踊つてゐたのは鳥籠あの鳥籠に代りたいなんて云つてた人がありますこれはその小艶姐さん

慶安異聞 艶魔地獄

（禁上演映畫化）

玉水三郎
（畫）長谷川小信

（四十八）

主膳家遊（三）

謀られるとは知らぬ相川忠太夫唯嬉しくつて耐まらない。

「初會一度で大店の花魁が、文を寄越して呼ぶといふ上は、此方も其積りでケチな眞似は出來ぬ。一つ清水の舞臺から飛降りた積りで今宵は大散財を致して、大盡に滿足をさせねばならん」

夕方日の暮るを待兼てゐると、折りあしくも、青山主膳は坂部三十郎、加賀爪甚十郎、松平紋三郎の三人を引つ張つて歸つて來た。

「忠太夫、御來客である。酒肴の用意を申附けろ」

折が惡いとは思つたものゝ、主命だから仕方がなく、家元梅野を呼んで、其由を通じた。

邸内は俄に賑やかになる。

「忠太夫、唯今客人の仰せであるが、此前見た菊が居らんのは殘念だ、何か代りに興ある事をせぬかとの事だ。邸内には無器用な者ばかり、蝋燭とお肴になる物がない。ソコで其方酒席へ出て、何か面白いお話でもお聞かせ申せ」

「ハツ、其……手前……今晩は其……生憎」

「何が生憎だ。苟くも予の友人にして、先輩の坂部氏もお在だ。旗本衆お三人の前で、親しく盃を頂くは、其方身に取つて譽ではないか」

「ハツ、ではございますが、少々其……手前」

「エ、何を申す。何でも構はんに依つて酒席へ出ろ」

忠太夫は默つて了つた。餘儀なく酒宴の席へ出ると、何しろ有名な驍勇、三旗本が大分酩酊してゐて、

「オ、用人か、何か興を添へんか其方相撲を取るか」

言ふことが荒つぽい。

「ハツ、折角の仰せながら、手前腕に弱虫でございまして、さつぱり力と申すものがございません。お對手は出來ませぬ。平に御容赦を……」

「裸踊りは何うだ。予が擂鉢を叩いて遣はす」

「有難い事ではございますが、滿座に無藝でございまして……」

「無藝か、然らば一藝大食と申す事がある。何うだ此大盃に、立て附け三杯飲んで、飯十五六杯一度に食つて見せんか」

「之は恐れ入りました。生憎唯今夕食をしたゝめましたばかりで、一寸唯今と申しては……」

「では酒だけ對手致せ」

「ハツ、左様ならば……アツ、左様に一杯お注ぎになつては困ります」

「何を申す、斯くいふ加賀爪甚十郎が酌だ。辱なく心得て一杯飲め」

「恐れ入りました」

忠太夫氣が氣でない。もう中途が燭臺を持込んで宴は益々酣となつて來た。

「ア、困つたな。コリヤ出られんぞ。折角今宵は早く參つて、大淀の顔が見られると思つたに……」

居ても立つても居られない。忠太夫は宴席へ入つたり出たり、愈々々々するのを、主人主膳は氣が附いて、

「コレ忠太夫」

「ハツ」

「其方、何故か今夜はソワ〳〵致して居る、何としたものぢや」

「エツ、イエ〳〵其別に……何うも失禮を仕りました」

「何んだ、懐を氣にして居るは……何を入れて居る」

「ハツ、手前紙入れで」

「ウンニヤ紙入れのみではない。何か其端の方の見ゆる書類はなんだ」

「イエ之は友人よりの書面でございまして……今宵其」

「ハヽア今宵友人の許へ行く約束をしたか、然しそれにしてはちと怪しい書面……」

なまめかしい紅半切れの端を睨まれて了つたから堪らない……

九紫 二黑 七赤 八白 三碧 一白 五黄 四綠 六白（九星盤）

九月二十七日　舊八月八日　水曜　丙申　先負　閉　箕宿

◎一白の人　時運優秀にして百事成らざるなし開店大吉　辰と未と丑が吉
●二黒の人　天惠多大にして萬事進むに吉立身出世の兆　乙と丁と亥が吉
●三碧の人　面倒なる事次々襲ひ來る日手控するが安全　庚と癸と寅が吉
◎四綠の人　滿足を得ぬとて悲觀せず開運を待たるべし　未と癸と寅が吉
●五黄の人　誠意の存する所何人も犯す可らず名利舉る　丙と庚と亥が吉
●六白の人　衆人の同情深く後助を蒙り目的を達する日　丙と丁と戌が吉
●七赤の人　心靜かなれば隙を突かるゝ事なし家居安全　甲と乙と丙が吉
●八白の人　陰欝の雲霽れて光明の射し込む如き良運日　庚と戊と亥が吉
●九紫の人　乏しき中にも和合が第一の寶と觀念すべし　丙と亥と癸が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船
（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
×しあとる丸	九月廿七日
亞米利加丸	九月廿八日
うらる丸	九月廿九日
はるびん丸	十月一日
×たこま丸	十月二日
香港丸	十月三日
うすりい丸	十月五日
ばいかる丸	十月七日

◎切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー
一案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

◎專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店　電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三一六番

シムラ會商第一日
日本の堂々たる正面戰法に
印度側急所を衝かる
內容發表を見合す

【シムラ二十五日發】二十五日の第一次日印會商內容は二十七日の會議の終るまで双方より一切發表しないやう印度側より申出でがあつた爲めコムミユニケの發表も無かつた印度側の眞意は不明であるが當日の會議で印度は最も痛い點を衝かれたので其發表を喜ばない爲めさ觀られる、仄聞するに日本側は或種の修正を附して現行條約の存續を要求したが、之は印度の自主權に關することで印度政廳さしては之に即答するを得ず日本の眞正面からの堂々たる戰法に相當惑した模樣である

澤田代表差別待遇に
遺憾の意を表す

【シムラ二十五日發】二十九日の第一次日印會商で劈頭澤田首席代表は印度の日本に對する差別待遇に遺憾の意を表し嚢に破棄を通告された日印通商條約を其儘存續せられんことを希望する旨述べた、之に對し印度側のノイス代表は差別待遇は遺憾に思ふところである、今日はボーア長官が缺席の爲之れ以上云ふ事の出來ないのは殘念であるが、貴下の御意志は充分ボーア長官へ傳へて置くさ答へ會談二十分で第一日は簡單に散會した

澤田代表より
我要求を提出
二十八日會議再開

【シムラ廿五日發】會議第一日ボーア氏病氣で出席せず午前十時より開始され、澤田代表より今回印度に來た意味さ新しき條約を取極めたき希望を述べ、且會議中關稅上其他會議の前途に不安を與へぬ樣保證方を希望したがボーア氏が居ないため印度側は回答を保留し、日本側も關稅に觸れず十一時半散會した、廿六日はボーア氏病氣の爲休會し廿八日開かれる筈である

廿七日より
本格的に

【シムラ廿五日發】第一回會商で澤田代表より日印條約締結迄の暫行協定さし、會議續行中印度側が關稅引上げ、會議の前途を暗くするやうな行動をさらぬやう保證されたいさ要求したが、若し印度側が之を拒否せば誠意疑はしい故回答を留保し英本國に問合せた模樣で、斯くて今後本國政府さ打合せのため會議長引くさ見られて居る、廿七日の第二次會商にはボーア氏も出席すべく、日本側から關稅引下げ要求をなし、印度側から印棉不買撤回を要求し本格的交涉を開始する事さならう

北鐵問題につき
ソ聯より太田大使に抗議
日本は關知せずと輕く一蹴

【東京廿五日發】太田駐露大使發外務省着電によれば、外務人民委員長ソコルニコフ氏は去る二十一日太田大使の來訪を求め

滿洲國は北鐵改革の名で管理局長の權限を縮少せんさしてゐるが、右は千九百二十四年の協定違反だ、又滿洲官憲は北鐵のソヴイエート從業員を逮捕せんさ傳へられたがソ聯利益の侵害でソヴイエート政府は右不法行爲は日本政府の使嗾さ認め日本政府に抗議する

さ抗議文章を手交した太田大使は即座に

滿洲國は獨立國であり、滿洲國の政策に日本政府は關知せず、從つて筋違ひの抗議だ殊に管理局長權限問題は多年の懸案で之が改革は千九百二十四年の協定違反でなく、ソ聯從業員逮捕問題は滿洲國の司法權の發動である

さ述べ一蹴した

ソ聯側六名の
拘留事件に抗議
滿洲國は輕く一蹴

【ハルビン廿六日發國通】ソ聯領事スラウツキー氏は北鐵ソ聯要人六名の拘留事件に就き、北鐵外交代表施履本氏に對し口頭を以て再度抗議し監禁者の釋放を要求して來た

尙ほ北鐵ソ聯代表バンドーラ氏も李督辦に對しソ聯要人の拘留は不法ださて其釋放を要求してゐるが、李督辦は司法權の發動に對する抗議は全くお門違ひださバンドーラ氏の抗議的要求を却け、一方被監禁者たる六名の要人には每日午前八時より九時迄午後二時より三時迄、差入れを許され頗る優遇されてゐる

驛員動搖し
國際列車出發遲る

【ハルビン二十六日發】ポグラニチナヤ驛長召喚のためポグラ驛員動搖し二十四日午前發の國際列車は發車の際驛長の命令無しさし頑張つて暫時間出發が遲れた

英露兩勢力
新疆侵入に
南京府政が駐在員を派遣警戒

【東京廿六日發國通】新疆省は近來支那國內の紛亂に乘じソヴイエートロシアの勢力が物凄い勢を以て侵入し、英國亦其觸足を伸し今や第一の外蒙古たらんさする事態であるに鑑み、南京政府は嚢に外交部長羅文幹を同地に派遣したが同氏よりの報告が有つた爲か今回更に與謂宜を新疆駐剳特派員に又タシケント駐在總領事には席錄を任命し、近く現地に赴かしめ同方面の警戒に當らしめることさなつた

滿洲里 ポグラ
兩驛長も
逮捕嚴重取調中

【ハルビン二十六日發】北鐵內部の不正事件に對し終に滿洲國主權の發動を見るに至り嚢に管理局員四名の召喚さなつたが之さ共に滿洲里驛長アブラメンコ及びポグラニチナヤ驛長カトイリウの兩名も二十四日逮捕され嚴重な取調べを受けてゐる

日本アルミニユームの
兩氏來滿

【大連廿六日發國通】日本アルミニユーム製造所顧問金子文作、同所專務數重雄の兩氏は二十六日朝入港の『おめりか丸』で來滿したが船中左の如く語る

今滿鐵の中央試驗所でアルミニユームの試驗をやつてゐるので、これも見たいし旁々原鑛其他に就て視察に來ました、尚新京迄行つて軍司令部を訪問したいさ思ひます

中川臺灣總督
上京

【東京廿六日發國通】中川臺灣總督は廿八日上京する事さなつたので豫て懸案中の臺灣

商標法の內容（四）
附り同施行細則

第五章　評定

第四十一條　左記各號の一に該當する場合は評定に依り商標の登錄を取消す

一、商標專用權者正當の理由なくして登錄の日より一年間其の商標を使用せざりしさき又は引續き二年間其の使用を中止せるさき但し聯合の商標の內少くさも其の一を使用せるさきは此の限に在らず

二、商標專用權者故意に其の登錄商標に商品の誤認混同を生ぜしむる虞ある附記又は變更を爲して使用したるさき

前項第二號の規定に依り登錄を取消されたる者は登錄の取消ありたる日より一年間同種の商品に付同一又は類似の商標の登錄を受くることを得ず

第四十二條　左記各號の一に該當する場合は評定に依り商標の登錄を無效さなす

一、商標の登錄が第一條乃至第四條第二項又は第七十條の規定に違反して爲されたるさき

二、商標の登錄が登錄出願より生じたる權利の承繼人に非ざる者の爲に爲されたるさき

三、第四條の規定に依る場合を除くの外商標の登錄が最先使用者に非ざる者の爲に爲されたるさき但し第七十條の規定に依り登錄を受けたるさきは此の限に在らず

商標專用權存續期間更新登錄が左記各號の一に該當する場合は評定に依り之を無效さ爲す

一、登錄が第十六條第二項但書の規定に違反して爲されたるさき

二、登錄が商標專用權者に非ざる者の爲に爲されたるさき

第四十三條　前二條に規定する場合に於ける取消及無效の評定は利害關係人又は審査官に限り之を請求することを得但し審査官は前條第一項第二號第三號若は第二項第二號に該當し又は第二條第八號第九號第十一號第三條若は第四條に違反すさの理由に依る無效の評定を請求することを得ず

前條に規定する場合に於ける無效の評定は商標專用權消滅後さ雖前項の規定に從ひ之を請求することを得

第四十四條　第四十二條に規定する場合に於ける無效の評定は登錄の日より三年を經過したるさきは之を請求することを得ず但し同條第一項第三號に該當するさの理由に依る場合並に第二條第一號乃至第七號第十號又は第四條の規定に違反すさの理由に依る場合は此の限に在らず

第四十五條　利害關係人は商標專用權の範圍の確認の評定を請求することを得

第四十六條　評定の請求は評定請求書を提出して之を爲すへし評定請求書には一定の申立及理由を記載すへし

第四十七條　評定請求書か法令に定めたる方式に違背したる場合に於ては評定長は相當の期間を定め其の期間內に欠缺を補正すへきことを命すへし成規の手數料を納付せさる場合亦同し

請求人か欠缺の補正を爲ささるさきは評定長は決定を以て評定請求書を却下すへし

前項の決定には理由を附すへし

第四十八條　評定長は評定請求書を受理したるさきは其の副本を被請求人に送達し期間を指定して答辯書を提出せしむへし

評定に於ては當事者の提出したる書類に對し相手方をして答辯書を提出せしめ又は當事者に訊問を爲して之に對する意見書を提出せしむることを得

偶語
南廣場の苦力市

首都新京の名物?さして市民には嫌はれ外來旅行者の目を引いてゐる南廣場の苦力市、もつさも一寸屋根、壁の修理、井戸掘り等には直ぐ間に合ふ事もあるが、あれでは全く人選に困るさふ處からかいにでも一寸行つて見るさ、それこそ大變だ

○

三十人、四十人の苦力團はヂヤングイ、ヂヤングイ、さ押し寄せて立ち處に十重二十重さ取捲かれて逃げ場に困る、男ならばさに角女一人で苦力傭ひに行けば苦力の方でからかつてしまつて一語でも言ふことは出來ない、ある日の朝も女が左官一人傭ひに來たがぐるぐる南廣場一杯逃げ廻りながらもやつさ滿鐵病院の脇で一人連れて行つた、二十六日朝も朝鮮人の男がこれまた左官二人見つけに來てゐた處例の通り黑山の樣にたかつてあぶなく動自車止めする處だつた

○

彼等にさつては重大な生活問題で熱心であるかも知れないが斯樣な無統制の儘放置しておくのは交通整理上また都市の美觀上にも甚だ飲くものがあるさ思ふ、何さか早く當局の取締でもつて無統制から統制へ導びいてもらいたいものだ

池田成彬氏
辭任に伴ふ
後任內定

【東京廿六日發國通】池田成彬氏の手形交換所理事長辭任さ聞き手形交換所では二十五日午後一時より理事會を開き理事長を選擧の結果串田萬藏氏が當選した、串田氏は之に伴つて銀行集會所會長を辭任したので、同所でも同日理事會を開き第一銀行の石井氏が會長に選任された、向ほ池田氏は手形交換所の平理事にも留まらず銀行集會所理事も辭するので兩所では理事各一名の補充を爲すべく來月二日各理事會を開いて決定の筈である

九年度滿洲事件費概算
一億六千萬圓
八年度に比し若干減少の模樣

【東京廿六日發國通】昭和九年度滿洲事件費に關しては豫て數字の整理中であつたが二十五日終了したので二十六日中に大藏省に廻附の筈である

右概算額約一億六千萬圓の見當であつて本年度豫算一億四千六百萬圓及び豫備費二千萬圓、合計一億六千六百萬圓に比し若干減額の模樣である

地方自治政改革案は愈々具體的進捗を觀るものさ期待されて居る

北鮮各商港の
大連港對抗は困難
敦圖新線を利用するも
十萬噸の吞吐力

【奉天廿五日發】敦圖線の九月一日營業開始引續く〇〇線の全通さ相俟ち北滿新線による羅津、雄基、淸津各港の距離短縮し北滿特產物の

『輸出』は一般的に期待されてゐるが運賃問題で大連港、北鮮港さの折合ひつかず滿鐵に於て北滿特產の中心地克山、雄基間さ克山・大連間の運賃を略同一價格にすべく傳へられてゐるがこれにしても一年後の北鮮各港に於ける吞吐力は大連に比し雲泥の差があり大連現在約九百萬トンに對し淸津雄基兩港合せて約百二十萬トンで尤も羅津は未だ計數に上げ得ないが非常な相違を示してゐる、右に關し九月十一日淸津方面を視察せるハルピン特產商の報告によればハルピンを中心させる特產年額大豆、豆粕百五十トンは北鮮各港に振り向けられる豫想さなつてゐるがお數量は前記吞吐力より見て受取り難いさ共に大連には永く特產取引市場さしての

『地盤』があり施設船便の點においても便なるを以て內地側においても北鮮各港筋を以て直ちに商談に應ずるや甚だ疑問さされ、又現在運賃單位を比較するも豆粕一車につきハルピン雄基間六七三、六〇圓、ハルピン大連間七〇〇、四四圓でピクルにすれば僅か五錢の開きしかなく從つて北鮮各港積の場合船運賃は大連積より僅か五錢のマージンよりないさ云ふ結果さなることの點より見て大連積に對抗することは甚だ困難さ見られてゐる、從つて北滿特產物に對して北鮮各港が如何に利用されるかは鐵道運賃の調節が最も重要なる問題であり滿鐵、特產商間に問題さなつてゐるが海運筋の見積りによれば、第一年度（明年一月より五月迄）の北鮮各港に

『輸送』される數量は約十噸萬さ見られてゐる

國際聯盟は
日支問題で失敗
モ假議長第十四回總會で言明

【ジユネーヴ廿五日發國通】第十四回國際聯盟總會は二十五日午前十時半から開かれたが講威代表モーインケン假議長は聯盟が日支紛爭に失敗せる點を述べ聯盟の前途に絕望的な言辭を漏らした、即ち右委員の言明したる所左の通り

聯盟が極東に於ける事態の好轉を圖るに失敗したことに鑑み吾人は聯盟が世界の注目裡に其地步を鞏固ならしむることは豫想出來ない

佛シ子爵
支那訪問飛行の途に就く

【カンヌ二十四日發】曾つて東洋訪問飛行を爲したシブール子爵は家族さ共に廿四日當地發支那訪問遊歷飛行の途に就いた、約三週間で香港に到着の豫定である

米穀統制案
殖民地修正案
聯合會で決定せん

【東京廿六日發國通】農林省提案の米穀統制案に對する修正案作成の爲め拓務省及び朝鮮臺灣兩總督府さの協議會は廿五日午後二時から拓相官邸で開かれ種々意見を交換したが具體案を得ず廿六日午後一時半農相官邸で事務當局のみの聯合會で農林側の意向聽取の上殖民地側の態度決定の筈である

二十七日早朝
我軍行動を開始せん

【北平二十六日發】懷柔に在つて反蔣抗日通電を發せる方振武軍は二十四日夜より順義方面に移動を開始し、次いで東方に逃走し不逞匪賊さ合流の停戰協定に依る不侵入地域內に永く蟠居せんことを企畫して居る模樣である關東軍は停戰協定を無視し右地域內に斯の如き武裝軍隊の存在することは許容し得ざる處であるので右部隊の行動を監視し苟くも違反行動を發見したならば隨時隨所に之を破碎すべく決定既に飛行機其他の部隊の準備を完了した、右膺懲の行動は二十七日早朝を期して開始する

積欠善後公債法等
けふ公布さる

二十六日國務院會議に上程可決した積欠善後公債法及收入印紙を以てする歲入金納付に關する件は二十七日裁可を經て同日公布をなすなほ右二法及制定の理由は次の如くである

積欠善後公債法

第一條　舊政權に屬する積欠の善後措置に伴ふ交付の金一部に充つる爲政府は額面金總額六百萬圓を限り公債を發行し之を積欠善後公債さ稱す

第二條　本公債の交付價格は額面金額に依る

第三條　本公債の利子は一個年百分の三さし大同二年七月一日より計算して之を交付す

第四條　本公債の元金は大同二十二年六月三十日迄に額面金額を以て之を償還す

政府は何時にても本公債の買入銷却を爲すことを得

第五條　本令施行の爲必要なる規定は財政部令を以て定む

附則

本令は公布の日より施行す

積欠善後公債法制定理由書

舊政權に屬する積欠に關しては積欠善後委員會に於て其の善後措置を講じつつありし處今回其の大部分を終了し、該積欠の舊債權者に對し約三百萬圓は現金を以て、約六百萬圓は公債を以て交付することを要すに依つて右公債の發行に關し本法を制定せんさす

收入印紙を以てする歲入金納付に關する件

第一條　政府の歲入金にして左に揭ぐるものは收入印紙を以て之を納付すへし

一、印花稅
二、契稅
三、訴訟費用
四、罰金
五、追徵金
六、罰鍰
七、前項各號に揭ぐるものの外別に法令を以て指定する手數料

第二條　收入印紙の樣式並發行及賣下に關する規定は財政部總長之を定む

附則

本令は大同二年十一月一日より之を施行す

從前の印花稅票は當分の內收入印紙に代へて之を使用することを得

從前の司法印紙は大同三年一月末日迄を限り之を使用することを得

從前の司法印紙を所有する者は收入印紙發行の日より大同三年三月末日迄の間に於て其の收入印紙さの引換を請求することを得

范家屯區公示第十一號

於范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧之總選擧場投票日時並當選擧委員及豫備委員の數開列于左

昭和八年九月二十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所所長　荒木章

記

區名	選擧場	投票日時	當選擧員數 地方委員會委員	豫備委員
范家屯區	新京地方事務所范家屯派出所	十月三日 自午前十時至午後二時	六名	三名

范家屯區公示第十一號

范家屯區ニ於ケル地方委員會委員及豫備委員ノ選擧場、投票ノ日時並ニ選擧スヘキ委員及豫備委員ノ數左ノ通

昭和八年九月二十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

記

區名	選擧場	投票ノ日時	選擧スヘキ員數 地方委員會委員	豫備委員
范家屯區	新京地方事務所范家屯派出所	一〇月三日 自午前一〇時至午後二時	六人	三人

新京區公示第一五號

於新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧之總選擧場投票日時並當選擧委員及豫備委員之數開列于左

昭和八年九月二十三日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所所長　荒木章

記

區名	選擧場	投票日時	當選擧員數 地方委員會委員	豫備委員
新京區	新京室町一丁目室町尋常高等小學校	十月一日 自午前八時至午後四時	一六名	八名

新京區公示第一五號

新京區ニ於ケル地方委員會委員及豫備委員ノ選擧場、投票ノ日時並ニ選擧スヘキ委員及豫備委員ノ數左ノ通

昭和八年九月二十三日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒太章

記

區名	選擧場	投票ノ日時	選擧スヘキ員數 地方委員會委員	豫備委員
新京區	新京室町一丁目室町尋常高等小學校	十月一日 自午前八時至午後四時	一六名	八名

誰を選ぶ？ 地委選擧を語る (A)

滿鐵社員の立候補は意味をなさぬ
理想は區長からの公選
郷軍分會副會長 下徳直助氏

當の地委立候補者をめぐつてその抱負を聽いて見るのもよいが、一般有權者達からその希望を聽いて歩くのもどんなものか、まづ新京には舊いお馴染の人々を訪ねて何か參考にしやう

□ 地方委員としての希望は幾らもあるが第一に、私は滿鐵社員がわざく地方委員に立候補するのは何のためか意味はわからぬ、地方委員會はもとく滿鐵の諮問機關である。滿鐵社員は課長以上にもなれば直接滿鐵の諮問に應ぜられるわけだ、それをわざく地方民同様に立候補する理由は自分にはどうも合點がゆかないのだ

□ 第二には切角吾々の代表として出す以上どこへ出しても恥づかしくない方に願ひたい、第三には公のことについて熱心に、私慾を棄てゝ眞剣に働いて呉れる人を選びたいと思ふそれから次には……出來ることなら地方委員は區長から公選したらどんなものかと思ふ

○ 今頃のやうに地方委員が貴族院で區長が衆議院のやうではどうも面白くゆかん、よく町内と結びつけて考つて見たら成績は今よりも上ることゝ思ふ

〔註〕下徳氏は長春草分け以來居住し新京郷軍分會副會長でまた第一區長、今度の地委選擧にも噂に上つた人

事情に通じた人に
現地方委員 宇野常吉氏

自分は過去三期間地方委員として今日に至つたのだが、私の經驗からいつて地方委員は滿鐵の諮問機關であり、その諮問に應じなければならないのであるから第一に土地の事情に通じた人でなくてはならないと思ふ、その意味で現在の正副議長などは最も適任ではあるまいか

○ これからいろくと新人候補も出るであらうが、唯だ舊い識よりのみでもよくないしまた若い者はがりでもよくはあるまい、要は中庸を得たのが最もよいと信じてゐるが今度自分が出なかつた理由は別に他意あるわけではない近頃家業が忙しく切角當選の榮をかち得ても委員會にも出席出來ないやうでは投票して下さつた皆様に對して誠に濟まないと思つたからです

地委選擧 トピツク

氣乘りせぬ滿鐵方面だがそれでも列車區長宮城調明氏の推薦ポスターが驛前の各所に目につく、列車區事務所に候補者を訪ねると、自宅に講演があるとかで歸つたとのことだつた、選擧なんぞてんで問題でないといつた具合

○ 同じく驛構内をずんく吉長線乘場を通り抜けた貨物事務所に貨物主任の山口義人候補を訪ふて見たらこれもお留守

何か工事關係で構内の現場に出かけたとあつていつ迄たつても歸らない、附近にゐた誰かをつらまへて（選擧の方はどうですか）と聞くと「まあく大丈夫とは思ひますが、然しどうですか知ら……是非當選して頂かないと困るんですが……」さすが御大大事とばかり氣遣はしさう

○ 序でに二階の鐵道事務所に同じ立候補者の一人、中山怨世氏に會ふ、今書かれたばかりの立看板が廊下に麗々しく立てかけてある、これは如何にも豪盛だと思つてさて會つて見ると

記者 いよく運動も始まつたやうですね

中山 フーン、俺は運動なんぞちつともして居らん

記者 それでもあの立看板がものを云ひますよ

中山 あれか、あれは選擧當日にでも出すつもりだ

その態度や如何にも剛慢で誰しもプツと噴き出すところ、これで庶務長とかで動まるこさか、流石は大滿鐵だと感心して引下つだものである

高粱刈入後の警備機關の對策決定

新京治安維持委員會目下の討匪状況は極めて好成績で昨年高粱繁茂期に於ける匪賊數に比し約十分ノ一に減少してゐるが、それでも八月中長春縣一帶に出沒せる匪賊延數は二千五百と言はれ匪害は殺傷卅一、人質百卅一、掠奪五十一、放火三、の數字を示し、各機關協力これが徹底的討匪につとめ九月に入つてからは漸次減少しつゝあるも、匪賊は高粱刈入れ後集團的になり、遠距離から部落を襲撃し收穫を掠奪する習慣あるに鑑み當局に於ては嚴重警戒網を張り之を絶滅すべく手配を完了した

地委選擧が迫つて滞納の片付け
淸き一票を放棄すなーと 出掛ける者が多い

地方委員選擧もあと數日に迫つた此のごろ、新京地方事務所へ滞納公費を納附に出かける者が日一日多くなつて來たので公費係でも大喜びである

『理由』はいふまでもなく公費を滞納してゐては切角選擧資格があつてもこれを行使出來ないわけで

即ち本年二月一日以前より引續き當地に居住し、且つ八月二日當日賦課の課金戸數割を分擔し、なほ引續き分擔する者には全部選擧權があるはずだが選擧人名簿は九月二十八日に確定するのであるから同日までに完納せない者は遺憾ながら選擧權の行使を停止されることゝなる

これがため同地方事務所では此の際滞納金を『完納』して淸き票を放棄せないやうにとさきに一般へ指達したが、選擧がいよく白熱化するに從つて滞納者もそのまゝ棄てゝ置くわけにはゆかず思出したやうに納附に出かけるわけでそれも明二十八日限り納附せないものはいよく選擧權を行使することが出來ないことゝなるわけである

西公園に關する私見を述ぶ（四）
一市民生

萬象沈默の新京の冬若人の血はわが西公園潭月池の銀盤上に跳躍するのである

西公園のスケートは現在地方事務所社會係の管理になつてゐるが吾人の意見としては公園内のことはすべて公園事務所の手にてをモツトーとしたいのである、元來一限定區域内に二個以上の統制機關あることは種々の場合煩瑣にして不合理なる問題を起し易いことは昔日滿洲に於ける四頭政治の例について見るも明らかなることである、屢々スケートリンクに於て生じたる事故に對しても公園事務所に責任を負はされた事があることは少しく責任轉嫁？ではあるまいか

父親あり兄弟の子供を伴ひて冬の西公園に遊びたりとせんたまく兄はスケートリンクにてフイギユアーの練習中禍つて負傷をなし弟は夕陽ケ丘の傾斜面にて雪辷り中又禍つて負傷せり、父親は先づ社會係の出張所なる池畔のスケート監視所に至りて兄の負傷に對する應急手當を請ひ更に公園事務所に來たりて弟の應急手當を請ふや上述の如きは最も極端なる引例であるが事が萬事である、從來公園事務所には公園内治外法權とも云ふべきものが創立當初より附隨して居り勿論警察當局と連絡を保つてではあるが園内見廻り人（俗稱打更）には一種巡査にも等しい權力が賦與されてゐる位であるのに同じ滿鐵地方事務所系統の相異りたる擔當者が一公園内に頑張り合ふことは不合理至極と云はざるべからず吾人はこの點に對しても當局の御一考を要請する次第である

西公園の西に一の細流がある東に流れて園內潭月池に注いで居る、その園外上流の凹地を挟んで南地兩側に緩傾斜の耕作地があるその彼方此方には蓊鬱たる森があり、高粱から黄の鬪人部落あり内地の農村を偲ばしむるものがあつた

池畔を吟歩して眞紅の夕陽の將に杜の彼方に沒せんとする狀の如何に莊厳であつたことよ

今や細流の出席一帶には關東軍官舍櫛比し南岸また滿洲國側の市街地に編入せられんと聞く我等は西公園が過去二十ケ年間吾人に與へた滿洲平原獨特の雄大なる落日の美觀をすら全く奪はれんとしつゝあるのだ吾等西公園を愛する者如何ともならぬものかな、あゝ新京西公園なる輝しき稱呼が過ぎし日の長春西公園よりその生命とも云ふべき輪廓環境の美、自然の風致大半を奪ひ去りたる殘骸に冠せられたるものならんとは夫れ何等の皮肉であらう

乍然吾人は靜かに宇宙の進展時代の變革を思はねばならぬ徒らなる慷慨の胸を開いて充實への精進を期せねばならぬ環境に失ひし美を園の內部に甦生せしめねばならぬ、國都建設の潑溂たた歩みがはからずも傷けし風致の跡を愛護の手もて繕はねばならぬこれ我等に與へられたる最高絶大の使命にあらずして何であらう、眼を轉ずれば國都新京の市街は日に延び月に擴がりつゝある、國都建設の鎚の音は丁々と晩秋の空に谺してゐる東邊の一小邑たりし長春と呼ばれし過去に於てすら市民慰安の設備乏しきを嘆ぜられし新京に今や國都としての將來を思ふ時その包藏ぜんとする五十萬市民は何處に凉風を追ひ何處に淸水を樂しまんやこれ吾人が聲を大にして西公園の設備充實を絶叫する所以である

東宮少佐 作戰指導中重傷

佳木斯自衛移民團創立首唱者であり又其產婆役たり現に同拓務省囑託東宮少佐は一方滿洲國軍政部の軍事教官として建國當初より第一線滿洲國軍の作戰指導に

『沒頭』して現在吉林省依蘭地區警備司令官中將于琛徴の顧問たるものであるが去る九月二十三日吉林騎兵第二旅の剿匪作戰指導中重傷を負つた、少佐は先般來賓清方面の討伐より引續き向も吉林省東部三角地帶の剿匪に餘念なく九月二十三日も早朝六時第二旅司令部と共に宿營地峽心子を發し柳樹河鎮に向ひ前進中高粱畑に覆はれた部落に匪首陳東山が三、四百の部下を擁して占據するのを知り當時旅司令部直接の護衛隊一中隊のみなしも旅長を促して勇敢なる攻擊に出で交戰一時間、敵は兵力の優勢に拘らず猛攻擊に懼れ退却に移つたが敵の一部は堅固なる家屋に據つて最後まで抵抗するので少佐は率先陣頭に立ち滿洲國の士兵を激勵して突撃に移りしとき飛彈胸を貫いた豪毅なる少佐は重傷に屈せず突擊を決行し敵を完全に擊退し而も我が部隊の集結まで見屆けたのである然し何分右胸部貫通銃創といふ

『重傷』であるから少佐は二十五日飛行機で哈爾賓に送られ衛戍病院に收容せられた、滿洲國軍政部の軍事教官として第一線に活動する現役將校（關東軍司令部附）は約〇〇名であるが何れも熱烈の士で單身言語風俗習慣を異にする他民族部隊の中に於て服務し建國初期の如きは配屬部隊の向背さへ定かならぬ中に捨身の覺悟で仕事し一人で數ケ旅の作戰指導をさへ擔任せしめられたのである、今日までに既に戰死一名、病死一名、重傷二名の犠牲を出したる外配屬部隊叛亂して謀殺せんとするに方り機智により危機を脱せるもの一名、不幸にも終に監禁せらるゝに至りし者一名ある始末で其の苦辛の程察するに餘りある、而も此等現役將校は啻に戰鬪の指導に任ずるだけでなく滿洲國軍隊の改造の爲各方面に

『互り』全面的に活躍して居るのであつて東宮少佐の如きは其最も功績ある一人である

匪賊一千西安に侵入
東邊道守備隊討伐に向ふ

【奉天二十六日發】盤石及び双陽縣内を移動しつゝあつた毛團、宋國紅軍の合流匪一千名は二十三日椅子山（西安東方三十キロ）及び哈蟆塘（椅子山西北十キロ）の兩縣の自警團、警察隊を擊破し西安縣に侵入した、急報に接し東邊道警備隊長春見中佐は二十五日午後零時山城鎭發西安に進擊した

醉ひどれ…… 警官を走らす
內地人青年の仕事

日中の醉どれが新京署員を驚かしたナンセンス…二十六日午前十一時半頃市内中央通吉野町交叉點附近で內地人の行路病者が行倒れてゐるぞの急を告げる新京署の電話ベルが鳴らされたので同署保安係では內地人の行倒とは稀に見る事でそは大事と諸種の準備もそこそこしく警備の榊巡査を初め二三の人々は早速オートバイを仕立て烈風を突いて一路現地へと急行した行つて見れば成程三十五、六才和服姿の堂々たる邦人があられもない姿で路上にのびてゐるので直にオートバイに同乘三笠町の同仁病院に入院診察を行つた所なんのことはない醉どれの成れの果て然も前夜は市內某料亭で其一夜を明し朝酒に景氣を添へて歸宅すべくあふつた酒が空腹故に意外に强く廻つた爲だと判明一同の警官はダー師本人もきまり惡るそうに至極恐縮住所も名も告げずそこくに引下つた

エプロン問題に當局を怒らす
經營者の暴言がばれて

新京カフエー組合ではさきに女給のエプロン問題に付役員會組合總會と二度三度の

『協議』を重ねた結果結局女給の投票によつて決定を見るべく解決したが、はしなくも同會合に於て經營者としてはこのエプロン問題には絶体反對で女給連を手中のものとして反對を唱えやうとの暴言を吐いた事をもれ聞いた新京署保安係では當局のこの好意的發案を無視し女給をかつて自己の不明を一掃しようと目先の觀に迷つた唾棄すべきこの行爲にいたく憤慨し早速同組合代表者二名を呼寄せて其の非をたゞす處あつた、が同組合があまりに自已本位に立廻り自ら進んで新京カフエー界の向上、改善並女給の待遇等に意を用ゆる事毫もなく當局の指示であれば致し方なくいやくながら從うといふ消極的態度であると

『同係』では憤慨の口ふんをもらしてゐる右に付同係では語る

女給のエプロン問題なごは枝葉末節なる事であるが總てが斯くの如くで實に困つてゐる此度の問題にしても洗濯賃云々を經營者はよくいつてゐるが其れ程洗濯賃の入るものであればなほ更で組合で洗濯をする機關を設け實費にて安くする樣にするとか當局の發案を活用して其れに種々工夫をこらしなるべく經費を削減するべく誠意を以てやつてもらへば出來得ない事はないのである現在三十余軒のカフエーがあるのだから組合で洗濯屋を開業してても充分收支はつぐなふのである、さに角同組合の不誠意なる事は事實で實にあきれたものである

兒童遊園 急いで
實現に決定

先日の中央通に於ける幼兒轢殺事件發生により、新京市内の兒童遊園地の必要が再び叫ばれつゝあるが、從來の兒童遊園地は關東軍司令部廳舍の新築のため破壞されてゐるので勢い兒童は道路上で遊び建築中の土砂の山で土遊びをするが如きことになり、自動車交通上の事故も發生するわけで、西公園擴張區域の村田逍遙園側の地域に設計中であつた兒童遊園を急速に實現さすべく既に提出中の豫算の通過を本社に懇願中である

農安方面へ
防疫班を派遣

民政部では農安地方におけるペスト防疫、乾安方面ペスト實地檢査の目的をもつて二十六日左記防疫醫及事務員を派遣した、防疫班長（醫師）廣木彦吉、平石醫師、砂田勝信、林茂溪、遲家域、王德厚、朱學淋諸醫師、荻島竹三、山崎直一、澤田務の諸防疫夫を農安方面へ乾安方面には髙坂智甫、張中揮、徐永齡諸氏が夫々消毒器具、防疫材料を携帶して出發した

仲秋上丁日
特に本年は旺んに

曩に文教部では王道立國の大精神に則り春秋二季の奠禮の大祭を復活することゝこれをもつて國民趨向の途を端的に表示したが九月二十八日仲秋上丁の日は釋奠擧行の日として滿洲國の大祭日にあたるので全國一齊に丁祭を擧行することゝに、首都新京、では執政府掌禮處、文教部文教司等において恭敬これが準備に孜々として努力しつゝある、今回の仲秋丁祭は執政の親行される所で王道建國以來最初の大祭典なれば當日は國民齊しく恐懼以つて尊禮の意を表すべきである、なほ歷代帝王は禮を封じて釋奠の儀を行ふところあれば一往昔の莊厳なる古式の大祭典をしのばしめるものあることであらう、なほ當日は午後六時から城內東三馬路燕春茶園において記念講演大會を行ふと

滿洲側記者團 公主嶺へ

新京滿洲側記者團は二十八日の親行釋奠禮節を利用して公主嶺農事試驗場見學のため富團長以下二十二名は二十七日午後出發す

豊作と銀高で 新大豆安値
出廻りも不活潑

新大豆の出廻り期に入つたが本年は豊作と銀高の關係で昨年同期一斗一圓六十錢前後であつた相場が本年は一圓三十錢前後に下落し從つて農家の出荷手控へのため更に活氣なく鐵嶺以北の滿鐵線一日の取扱高は平均四千噸程度で昨年同期に比し二、三割の減少を示してゐる

醫大生の和樂演奏
一日高女で

滿洲醫科大學和樂部員一行は近く來京、來る一日午後五時半から新京高女講堂において地方事務所並に滿鐵社員俱樂部主催の下に大演奏會を開催することになつた、演奏曲目は左の通り

△摘草 △新日本音樂 (イ)嘆き給ひそ (ロ)初だより △新娘道成寺 △新日本音樂 秋の調 △千鳥の曲 △楫枕 △春信幻想曲 △稚兒櫻 △まゝの川雪

料理講習會
廿九日午前九時から

新京家事講習所では元九大高等調理相當の竹石吉助師を聘し二十九日午前九時から料理講習會を開始するが、一般會費一圓會員五十錢

東亞同文書院生 共產黨事件 判決言渡

【長崎廿六日發國通】東亞同文書院生共產黨事件は廿五日地方裁判所で左の判決を宣告された

懲役二年 扳卷隆
懲役三年六ケ月（五年執行猶豫） 高原茂
懲役一年（三年執行猶豫） 福田淸

米國西南岸 庭球戰で
佐藤、布井組惜敗

【ロスアンゼルス廿五日發】太平洋西南庭球大會復試合準決勝戰で我佐藤、布井組は米國のヴアインズ、ステフアン組と對戰し次のスコアで敗退した

ヴアインズ（六－三）佐藤
ステフエン（六－四）布井

尚復試合選手權はヴアインズ組の獲得するところとなつた

ミス、カリフオルニア
ダフイル孃來朝

【橫濱二十五日發】七年前美人投票でミス・カリフオルニヤの位置をかち得たサンフランシスコ社交界の花形と謳はれてゐたダフイル孃は橫濱駐在米副領事メリル氏と婚約整ひ、二十五日クーリツヂ號で來朝した

秋山第四課長 就任披露宴

關東軍司令部第四課長新聞班長秋山中佐の就任披露宴は、二十五日午後六時より大和ホテルホールに於て開催、新聞關係者多數出席岡村副參謀長より秋山中佐を紹介、就任の挨拶を述べた

△精養軒のマユミ 過ゐ日涙さ共に〇〇のバーさんに何事かを一心に物語つてゐた、涙にもろいは男の常だ、流石のバーさんも何事かを決心した模樣であつた △こゝのトシ子先日さうくやめたさうだが此度は何處に現はれるだらう？フアン連中しきりに氣をもんでゐる △三笠のランチ、科目もどきでウジヤーと腕それによつて男性をチヤームしようとはそりやあんまりだ △會我酒家の福太郎、病氣の安請合で又何やかや病氣してゐるさうだが初戀のバーさんの事だけは忘れられないさみえバーさんくで病氣のウさを晴らしてゐる

吉凶禍福

△新京東二條通三八牧野一男氏長男太郎さん十日出生
△新京求樂町二丁目八聰忠義氏二男田さん八日出生
△新京室町一丁目二號一閑谷初五郎氏長女守枝さん、十九日出生
△新京東三條通五八奈倉壽満氏二十四日死去
△羽衣町一丁目四ノ三、稻積利一氏長男光子さん二十四日死去

滿洲國司法制度（三）

司法部總長 馮涵清

第六項 兼理司法縣公署

兼理司法縣公署は法院設置前に於ける唯一の審判機關たりしが現在に於ても法院及び司法公署の設置なき各縣の司法事務は縣知事に委任して之を處理せしめつゝあり

兼理司法權公署は縣知事と承審員とを以て之を組織し承審員の審判せる事件に對しては縣知事と承審員共同の責任を負ふ、但初級案件にして承審員獨自にて審判せるものは此限に在らず、檢察事務は承審員或は縣知事之を辨理す

兼理司法縣公署は初級地方管轄第一審案件に對し審判權を有す兼理司法權公署に於て審判したる地方管轄の刑事案件は上訴の提起なき時と雖も其判決を所管高等法院又は分院に送致して之を覆判すへきものとす、高等法院又は分院は右判決に對し覆判の必要ありと認むる時は原審縣知事隣近の地方法院、地方法院分庭又は他の兼理司法縣公署に附して覆審を爲さしむることを得（暫行條例）

兼理司法縣公署の第一審事件の上訴手續に關しては司法公署の項に述へたると同一なり

第七項 監所

監所に關する一般法規は敎令第三號に基き監獄規則（民國十七年公布）並に監獄官制（民國三年九月敎令公布）の援用により滿洲國の監所制度を構成す、其他特別規則として監獄作業規則、視察監獄規則、犯人の假保釋に關する假釋管理規則、監犯保釋暫行條例等あり、更に滿洲國成立以前に於ては奉、吉、黑の各省に疏通監獄折贖辦法等の特別法ありて監房狹隘の爲或は囚糧費預算を超過し犯人の收容に堪へさる等の場合には特に規定されたるものを除くの外犯人をして罰金の納付により徒刑の執行を免るゝを得せしめたるも其の弊害の甚たしきにより、滿洲國成立と共に之を廢止せり（疏通監獄辦法知請廢止之件大同元年六月司法部指令字第九十一號）

全國監所數

省別	新監獄	檢察廳看守所	舊監獄	縣看守所	計
奉天省	二五	一三	二三	三五	九六
吉林省	五	二六	七	二	四〇
黑龍江省	三	三〇	五	〇	三八
東省特區	二	一〇	三	〇	一五
合計	三五	七九	三八	三七	一八九

收容囚人數（大同元年十一月）

省別	豫定收容人	現在收容人數
奉天省	八三八〇	四九〇〇
吉林省	七二一五	二三五〇
黑龍江省	三六六〇	七七〇
東省特別區域	四三五五	三〇〇
合計	二三六一〇	八三二〇

註—熱河省不明

即ちに於て約二萬人を收容し得るも建國直後公布せられたる大赦令により著しく其の數減少し爾後多少增加したるも其の半數一萬人に充たす

滿洲國の文敎に就て（三）

文敎部次長 許汝棻

一、文化事業及古蹟保存

本部の成立後、文溯閣四庫全書、舊東北大學及張學良の藏書を蒐集整理し張學良の私邸を本部直轄國立圖書館とする樣積極的に準備中てある、又「古蹟保存法」を制定し公布方を要請中てあるか歷史に關係ある古蹟は武家の文化に關係あり若しこれか保存を怠れは破壞散逸し易いのである

一、體育大會及少年團

體育は國民の體格の鍛錬に在りて、凡の事業は健全なる身體の所有者にあらされは行ひ難しい本部は全國に昨秋第一回建國紀念運動大會を今夏更に第二回大會を擧行し非常なる成功を收め國民に健康の必要なるを示した、其他體育の振興に就いては昨秋各學校に少年團を選拔來京せしめて日本より招聘せる三島子爵、二荒伯爵、の指導を受け後更に各省より少年團を選拔して觀光の目的て渡日せしめた

一、社會敎育普及事項

數十年來文化の衰微は蔽ふへからさる事實にして、古き調査に依れは全國を通して敎育を受けたるものは百分の十五に過きすさ、露西亞は革命後極力平民敎育の普及を圖りつゝあるが既敎育者六百萬人以上に達して居る、本部は我國民の敎育程度か斯く低下し寒心に堪へさる狀態にあるに鑑みて目下映畫等をも利用し極力識字運動を宣傳中てある例へは識字、衛生等の社會敎育は極く卑近な講演繪畫を以つて下層社會を啓發することにして居る、以上は既に實行せる事項にして此より規畫希望事項を述ふることゝする

一、敎科書の編纂

國民黨は政權を執りてより國民に暴虐の限りを盡し此によりて生する國民の對內感情を對外に轉せしむへく旺んに排外主義を唱へつゝあるが、此は我王道建國の精神に矛盾するので大同元年三月二十五日國務總理の訓令を以て各省學校共此後は四書孝經を課目に加へて講義し、禮敎を崇ひ、凡て黨義に關する敎科書使用の全廢を命した現在各學校にて使用の各級敎課書は奉天省敎育廳及南滿洲敎育會の編纂に係り本部の校閱を經て出版したものであるが本部は國民に建國精神の要義を知らしめ國民の思想を統一せしめんと目下敎科書の編纂中にして近日中に完成せしめんと眀し努力して居る

一、學制の規劃

學制は社會の必要に基くものにして空想的計畫であつてはならない世界經濟界の恐慌以來、職業學校は目下の急務と認めるに至つた、近代の職業學校を日、英、獨、佛、米の五ケ國に就きて見るに日、英、獨は工商を、佛、米は農工を重して居る、我國は農立國であるから職業學校は農工を主とするものを至當とするのである

尚本部の學制構成は次の條件に基くものである

海の外から

□手無し飛行記錄

米の曲乘り飛行家ジョニー・クローウエル氏は奇想天外の「手無」飛行に成功した、機械の操縱は專ら脚部及膝部で濟ます離れ業であるが是は操縱者が技術上の技量を表明する許りでなく、飛行中不慮の出來事に逢着する應急の處置が出來るといふ一新記錄と見てよからう

□新氣球S第二號

過般飛翔失敗した米國セトル大佐搭乘の、新製輕氣球S第二號は來る十月初旬愈々大規模な飛翔を決行するため同氏は目下準備に忙殺されてゐるが、此の程、球內二個の地上連絡ラヂオ裝置を取り付け萬全を期すことゝなつた

□メリー、ゴーラウンド陳列棚

米國ロスアンゼルス公設市場には顧客が一目瞭然、食料品を概見することが出來る「メリー、ゴー、ラウンド置き棚」裝置を設備し動力に依つて僅々三分間で各種各樣の陳列品が見えて購買に非常に便利となつた爲め、最寄食料品店は顧客激減し目下大恐慌を來してゐる

ラヂオ欄

二十七日（水）新京

新京前一一、〇五 講演 滿洲に於ける軍用犬の狀態に就て 關東軍獸醫部長陸軍獸醫監 渡邊中
新京後[illegible]、〇〇 子供の時間
同 後五、三〇 ニュース英語
同 後五、四〇 ニュース露西亞語
同 後五、五〇 ニュース朝鮮語
東京後六、〇〇 ニュース
新京後六、二〇 語學講座（滿洲語） 東京中央放送局編輯 高宮盛逸
同 六、四〇（日本語） 植松金枝
奉天後七、〇〇 相場 商業通信社
新京後七、一〇 演藝（滿）
同 後七、三〇 講演 承認一周年を迎へて 協和會 孔碇材
新京後八、〇〇 ニュース（滿）
東京後八、三〇 時報
同 後八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯
新京後八、四五 ニュース 氣象通報及プログラム豫告
同 後九、〇〇 講演及演藝（滿洲語）

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	六六	チヌ鯛	四〇
連子鯛	二六	アマ鯛	四〇
小鯛	五二	マグロ	一〇〇
ニベ	九	ヒラス	三六
サハラ	二五	スズキ	二一
カマボコ	一八	ヤズ	一六
サバ	一六	アジ	一六
ヒラメ	一三	ボラ	一八
コチ	一三	コノシロ	一五
イワシ	一三	マナカツ	八五
ウナギ	八〇	ムツ	一三
小市	一一	オパパ	三二
アブラメ	一七	アコウ	四〇
イセエビ	五六	車エビ	六六
中エビ	三四	カニ	一〇
ハモ	一三	アナゴ	一四
シタ	一三	アワビ	五六
ハマグリ	一〇	シジミ	八
サケ	七二	赤貝	一〇

戀の黒船往來

轉載上映及上演禁

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百五十二回

人身御供（七）

夜陰ひそかに訪れた三人の客は そのまゝうやうやしく船室へ通された。

いつか、小樽番所の談判委員格磯貝武七郎が通された華麗な――ライラックの花の香のいつまでもする異國情調たつぷりな應接室である。

さすがに、お愛は馴れたもので緋布を張つた椅子へ遠慮なく腰かけたが、千代の方は、一層美しく初々しいだけに、針の莚へ坐るやうに、いたいたしく哀れにみうけられた。

それだけに、ならんで腰かけてをる父親の又左は、娘の姿に、こゝろをさいなまれるのだつた。單にこゝろをいためるだけでは

この美しい初々しい無垢の娘へ――、たとひ、藩のためにとはいへ、けだものどもの手に渡し、それで、おめおめと歸られるだらうか……とおもつた。

――おれの所業には、はたして武士らしいものがあらうか……いや、おれは、娘にとつて、むしろ鬼親だ！

又左は、おのれをのゝしつた。そして同時に、おのれの、いや、松前藩の意氣地なさが、いま、はじめて、はつきりとわかつた。

『千代！』

案内役の水兵が立去つたあとで又左は娘をかへりみて低くさゝやいた。

『はい』

『歸るなら今だぞ。こんな紅毛の船、いやなら、すぐわしと歸るがよい』

『……』

千代は、たうていその返事ができなかつた。

刀にかけても娘を紅毛人に渡さうとしたその同じ父が、今、明かに畜類共に手渡すことを惜しんでをる。その父の氣持が限なく見通されて、なんとなく父が哀れにみえた。

『千代！　わしは、な……』

ふたゝび、何かいはうとしたのを、千代はさへぎりとめた。

『いゝえ、わづか二月でございますもの、きつと辛抱いたしますわ』

意外にも、あまりにきつぱりといふのだつた。

『……』

だから、又左は、それをきくといつさうこゝろを痛めた。

主君のため、おのれを殺してをる千代の健氣さが、いよいよ又左には堪まらなかつた。

『それに……』

『おう、それに、なんだ？』

『こゝに、お愛さまがいらつしやいますから、父上も、どうぞごあんしんなさいまし』

『うむ……よくいふた。それをきいて、わしも安堵いたした。のうお愛どの、おきゝのとほり、娘はたゞ、あなたひとりをたよりにいたしてゐる。どうか、たすけてやつて下され』

又左は、もう、武士の手前も忘れ、人間の生地にかへつて、お愛に泌々と頭を下げた。

『いゝえ、もつたいない。あたしごときが……でも、及ばずながらお護りいたします。たつた、二月ですもの……』

お愛は、なにもかにものみこんだ……と、いはぬばかりに應へた。

そのとき、ドアの外に、高い靴音がした。

ドアがあいて、ロマンの典膳の人を食つたやうな微笑む顔が現はれた。

いよいよこゝで美女の取引が行はれるのである。又左は、あるひはこれがこの世においての、娘との別れかもしれない……と、おもつたのは無理もあるまい。

彼は、そのいやな豫感を强く拂ひのけた。